

令和8年度予算に対する要望書を提出させていただきました

2025年8月20日に国土交通省航空局 航空ネットワーク部 田口部長と面会し、令和8年度予算に対する空ハン協としての要望書を提出させていただきました。



宍倉会長より田口部長へ要望書を手交



左から、曾原理事、宍倉会長、(航空局)田口部長
服部副会長、(航空局)指田航空ネットワーク企画課長

令和7年8月20日

国土交通省 航空局長
宮澤 康 一 様

(一社) 空港グランドハンドリング協会の
代表理事・会長 穴 倉 幸 雄



令和8年度に向けた要望について

令和5年6月に発表された「空港業務の持続的発展に向けたビジョン」ならびに、令和7年6月に発表された「経済財政運営と改革の基本方針2025」及び「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2025年改訂版」における「省力化投資促進プラン」を踏まえ、令和8年度要望を以下の通り提出させていただきます。何卒ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

観光立国実現ならびに航空ネットワークの維持・活性化推進のための体制強化に向けた要望

2030年訪日外国人旅行者数6000万人の実現ならびに航空ネットワークの維持・活性化に向けた国内空港の受入体制整備については、引き続き国策の一環として取り組む必要があります。

受入体制整備に向けては、採用競争力強化、離職抑制の視点を持った「安心・安全で働きやすい空港づくり」、また今後の生産年齢人口のさらなる減少を踏まえた「外国人材受入れのための整備」や「生産性向上（省力化）」等が重要となります。

これらを実現するためには、グラハン事業者の経営基盤の強化に加え、国及び地方自治体や空港会社等からの支援協力が重要であり、関係者一丸となった受入環境整備を促す制度の継続及び拡充について、引き続きご支援をお願いいたします。

(具体的要望事項)

- 観光立国を実現するための航空ネットワークの維持に向けた空港人材への支援
 - ・ 更なる取り扱い便数の拡大に対応するための、人材の採用・育成・定着に向けた施策実施にかかわる支援の継続
 - ・ 空港への通勤対策、空港近隣の住居確保等、各空港の業務の担い手が求めている施策の実現に向け、自治体や空港管理者が関与していく仕組みの整備および支援の拡充
- 安心・安全に働き続けられる空港づくりのための支援
 - ・ 猛暑対応、被雷対策等、空港人材の命を守るための作業環境改善を空港主導で早期に実現するための関係者の理解推進、空港WGの機能強化および国・自治体による支援の継続
 - ・ 働きやすい空港づくり、制限区域内事故再発防止策等、従業員の安心を高め、定着を促す施策を実施するための航空・空港関連事業者に対する支援
- 外国人材受入のための環境・制度の整備にかかわる支援
 - ・ 在留手続きに関わる費用、空港内運転資格早期取得対応、日本語教育の充実等、外国人材の雇用拡大、活躍、定着のための施策実施により発生する費用に対する支援の拡充
- 生産性向上（省力化）の実現に向けた支援
 - ・ 空港業務の生産性向上に必須となる空港DX推進に向けた、資機材の導入及び充電施設や通信環境の整備のための支援の継続・拡充
 - ・ 省力化に資する空港ハンドリング手順の円滑化・合理化について、国や自治体、施設を保有する空港が一体となった施策の推進するための支援・拡充

以 上